



## 北海道子ども読書応援団ニュース

## ゆめ\*よみ

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

社会教育・読書推進グループ

TEL: 011-204-5994

FAX: 011-232-2236

## 「チャレンジ・ビブリオバトル」事業

北海道教育委員会では、全道にビブリオバトルの普及・啓発を図るため、「チャレンジ・ビブリオバトル」事業に取り組んでいます。

本事業は、学校、市町村立教育委員会及び市町村立図書館が連携を図り、市町村全体で児童生徒によるビブリオバトルの活性化を図ることを目的に、江別市と登別市において、令和元年度、モデル地域として御協力いただいています。

来年度以降は、本事業の内容をモデルとして、全道の児童生徒にビブリオバトルの普及・啓発を図っていきます。

## 江別市教員研修会

〔令和元年7月30日 江別市民センター〕



室蘭工業大学須藤秀紹教授による講義です。とても分かりやすい説明をしていただきました。



参加した教員や図書館司書が実際にビブリオバトルを体験しました。

## 各地の子ども読書応援団の取組紹介

## 「あかちゃんといっしょ、本といっしょ、いつもいっしょ」えにわゆりかご会（恵庭市）

恵庭市の「えにわゆりかご会」は、ブックスタートの支援をきっかけに、平成13年4月17日に発足しました。

当会の主な活動は、ブックスタートでの読み聞かせの他に、自主事業「あそびわーど あかちゃんといっしょ」の実施や「ゆりかごつうしん」の発行等、恵庭市の乳幼児とその保護者が本にふれあい、親子が楽しい時間を過ごすお手伝いをしています。

年に2回ほど実施している「あそびわーど あかちゃんといっしょ」は、音楽や手作りおもちゃ、人形劇等の様々なプログラムを展開し、多くの親子が図書館で楽しく過ごす人気事業となっています。

代表の平井さんは、「親子への読み聞かせや子育て支援は楽しいです。仲間との楽しい活動が私たちの学びにもなっています。その楽しさが参加者にも伝わって、楽しんでくれるといいなと思います。」と話していました。

赤ちゃんと保護者が心を通わせながら、お互いの愛情を実感するお手伝いができるように、子育て支援、読書活動支援を進めています。



【「あそびわーど あかちゃんといっしょ」の様子】

## 「絵本の魅力を伝える『おはなし会』」 この本だいすきの会帯広支部（帯広市）

「この本だいすきの会帯広支部」は、1989年に保育士や図書館職員が中心となって設立され、今年で30年目を迎えます。現在は、12名の会員が登録しており、毎月第4土曜日に帯広市図書館にて絵本の読み聞かせ（おはなし会）を実施するほか、帯広市図書館まつりへの協力や依頼があったところへ出前のおはなし会を行うなど、地域における読書活動推進の一翼を担っています。また、月に一度、例会を行い、各会員が持ち寄った本の紹介や絵本の新刊、イベントの情報交換等も行っています。

### ＜ある日のおはなし会の様子＞

小さいサイズの絵本からスタート。子どもたちは、絵本に引き寄せられるように、自ら読み手の近くに集まる様子が見られました。また、前半は、短めの絵本を使用し、聞き手の声を引き出す問いかけを適宜入れることにより、子どもたちは絵本の世界に無理なく親しみ、後半は、少し長めの絵本も最後まで熱中して楽しむことができました。最後に、絵本に合わせ全員で歌を歌うことで、一体感を感じながら楽しい気持ちで、読み聞かせを終えていました。参加者からは、「すごく楽しかった」「また来たい」などの感想が寄せられました。

### 【読まれた絵本】

- ① 『どっちのてにはいつているかな？』（偕成社）
- ② 『ない！』（ちいさなかがくのとも 2019年9月号 福音館書店）
- ③ 『わにわにのおふろ』（福音館書店）
- ④ 『とりづくし』（鈴木書店）
- ⑤ 『おばけなんてないさ』（ポプラ社） など



【おはなし会に熱中】

## 「子どもたちの笑顔が見たくて」

## かくれんぼ（浦河町）

『絵本が好きだから、子どもと一緒に楽しもう』を合い言葉に活動を行っている「かくれんぼ」です。現在、メンバーは4名で、毎週木曜日に、午前は小学校で、午後は児童館で読み聞かせを行っています。

自分で読むのと、読み聞かせるときの読み方とは違うので、図書館からの情報を基に札幌で開催される読み聞かせの講演会や研修会に参加し、読み聞かせ方の改善に取り組んでいます。また、毎年たくさん新しい絵本が出版されるので、絵本の雑誌を購入し、読む本のバリエーションを増やし、子どもたちが喜んでくれる取組も行っています。

活動を30年続けることができたのは、活動の仕方を教えてくれた先輩方がいて、活動を支えてくれる町の図書館があり、読み聞かせの場を提供してくれる学校や児童館があるなど、みなさんのおかげです。

近年、学校で読み聞かせを行う機会が減ってきたり、町の図書館に足を運ぶ子どもが少なくなってきたと感じているので、子どもたちに絵本の楽しさや面白さを伝えるために、今後も活動を続けていきたいと思っています。



【児童館での読み聞かせの様子】

## 「子どもたちに読書活動への意識を芽生えさせる」 浜頓別町なかよし童話会（浜頓別町）

浜頓別町の読み聞かせボランティアサークル「浜頓別町なかよし童話会」は、「子どもに本の楽しさを知ってもらいたい」という願いをもった町内有志が集まり、昭和58年4月に発足した団体です。浜頓別町立図書館と連携を図りながら積極的に読書活動の普及に取り組み、平成23年に「文部科学大臣表彰」など、数多くの表彰を受賞しています。

具体的な活動として、年6回の読み聞かせを行っており、子どもの興味関心に合わせて選書するなど、子どもたちの視点を大切に活動しています。クリスマス会などの催しでは、本の読み聞かせに加えて紙芝居や人形劇などを取り入れ、子どもたちに読書活動への意識を芽生えさせる取組を行っています。

童話会の皆さんは、今後も図書館と連携を図り、子どもたちが本に親しむ環境を整え、さらに読書活動の楽しさを伝えていきたいと語っていました。



【クリスマス会の様子】

## 「絵本・紙芝居で子どもたちを笑顔に」 名寄本よみ聞かせ会（名寄市）

「名寄本よみ聞かせ会」は、「心豊かな子どもたちを育てたい」と市内の母親たちが中心となり、昭和49年に発足しました。現在は、17名の会員が登録しており、名寄図書館との共催で、絵本の読み聞かせや紙芝居、工作を行う「金ようおはなしクラブ」、赤ちゃん向けの「ペンギンクラブ」を開催するとともに、子育て支援センター、保育所、幼稚園、小学校、中学校での読み聞かせ、名寄市保健センターで実施している初めて親になる方を対象とした「お父さん・お母さん教室」への協力、独自事業での講演会実施など、幅広い活動を展開し、地域の読書活動推進の一翼を担っています。平成28年には、長年の活動の功績により、「優良読書グループ北海道表彰」を受賞しました。

多くの子どもたちを笑顔にしてきた会の活動の中で、特に人気があるのが会員手づくりの「ブラックライト紙芝居」です。この紙芝居は、蛍光塗料を使用して製作されており、まっくらな部屋の中でくっきりと映し出される紙芝居を見た子どもたちは、驚きや歓声とともに、瞬く間にお話の世界に引き込まれていきます。

同会の田村悦子さんは、「今後も、赤ちゃんから大人まで全ての世代への読み聞かせを大切に、いくつになっても絵本の楽しさを感じてもらえるように活動していきたいと思っています。そして、子どもたちには感性豊かでやさしい心が育って欲しいと願っています」と、今後に向けての抱負と子どもたちへの願いを話されています。



【蛍光塗料で作成したブラックライト紙芝居】

## 町教育委員会や学校と連携を図った「チーム読書」の推進へ向けて さくらんぼの会（釧路町）

さくらんぼの会は、平成16年（2004年）に釧路町立富原小学校の保護者有志8人で立ち上げた会です。発足当時は、子どもたちが本離れにならないようにとの願いから、富原小学校の図書室で本の読み聞かせを行っていました。

現在では、転勤等の関係でメンバーは3人になりましたが、釧路町教育委員会と連携を図り、活動場所を、町内の各小学校、保育所、幼稚園、公民館等へと広げています。特に行事に合わせて行う、ピアノ演奏を交えた大型絵本の読み聞かせは、子どもたちや地域住民から大変好評を得ています。また、釧路町教育委員会が実施する「ブックスタート」や「親子DEスクール」などの家庭教育支援事業でも、絵本を介して親子が触れ合う時間を提供するなど協力しています。

昨年度、北海道教育委員会が実施した「釧路管内地域の読書活動活性化フォーラム」におけるシンポジウムのパネリストを務めた佐々木由香里代表は、「釧路町教育委員会や学校と連携を図りながら、オール北海道で進める子どもの読書活動を推進し、チーム読書の一翼を担っていきたい」と今後の抱負を話していました。



【ピアノ演奏を交えた読み聞かせ】



【親子DEスクールの一場面】

## 「多方面から読み聞かせにアプローチ」 おはなし会「わらべ」（由仁町）

由仁町のおはなし会「わらべ」は、平成8年度に町内の老人ホームで読み聞かせを行っていたメンバーが中心となって立ち上げた読み聞かせボランティア団体です。

主な活動として、町立図書館から距離のある三川地区の子どもたちへ本に親しむ環境と機会を提供するために、学童保育の児童を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせ、季節ごとの工作づくりなどを行う「おはなし会」を開催しています。

また、毎年、夏に由仁町ゆめつく館主催で行われる「あおぞらとしょかん」で絵本の読み聞かせの他に、リズム遊びやギター生演奏を取り入れたパネルシアターなど、独自の発想を取り入れた活動も行っており、来場した子どもたちからは、「楽しかった！次いつやるの」という声が聞かれたり、笑顔が見られたりするなど、家庭での読み聞かせとは少し違った環境を提供する場となっています。

このような取組から平成18年度には、「北海道優良読書グループ北海道表彰」を受賞しています。

これからも地域の子どもたちに楽しんでもらえるよう、研修などに積極的に参加しながらメンバーのスキルアップを図り、活動を継続していきたいと考えています。



【「あおぞらとしょかん」の様子】